

みらいをつくる

発行: 泉佐野市教育委員会
教育部【2025年7月14日】

「心を一つに!」 長坂小学校 春の運動会

6月1日(日)、長坂小学校にて市内で一番はやく春の運動会が開催されました。

当日の天気が心配されましたが、よい気候と好天に恵まれました。千代松市長、中村教育委員をはじめ、多くの来賓や保護者に見守られる中で、子どもたちはこれまでの練習の成果をしっかりと発揮していました。

開会式では、校長先生の「みんなのために、自分のために、精一杯がんばり～」というかけ声に合わせて、全校児童が「MAX!!」と大きな声で元気いっぱいに意気込みを表し、会場が大きな拍手に包まれました。



1年生は、初めての運動会でしたが、緊張しながらも笑顔で楽しんでいる様子がみられました。また、それぞれの学年が紅白にわかれて玉入れ、大玉ころがし・運び、台風の目、棒引き、綱引きで熱戦をくり広げました。子どもたちは、自分の学年はもちろん、他学年の競技も気持ちを込めて応援していました。

プログラムのクライマックスには、5、6年生による「長坂ソーラン2025～絆～」で、4色のハチマキと衣装に身を包み、心を一つにして全員息ぴったりのソーラン節を見せてくれました。最後に、全学年による大玉送りリレーが行われ、運動会は大盛況の内に幕を閉じました。子どもたちみんなが真剣に頑張る最高の運動会になりました。



「協力」「つながり」で笑顔かがやく北中小学校運動会

6月7日(土)、北中小学校の運動会が行われました。

開会式、校長先生が持っていた紙に書かれていた文字は「協力」。仲間とのつながりを大切に、協力すれば大きな力になるというお話に続き、児童代表からも「みんなで協力して楽しい思い出になる運動会にしよう」と目標が発表されました。

北中小学校の子どもたちは、あいさつも返事も元気よく、意気込みが感じられました。

1年生は初めての運動会。蝶ネクタイにカラー手袋を身につけ「おさかな天国」「エビカニクス」「スシ食いねえ!」の「キラキラ☆りゅうぐうじょう」メドレーでかわいいダンスを披露し、会場を魅了しました。

2年生の演技は「かわいい2年生のCookieParty!」。手づくりの猫耳をつけて、タイトルどおりとにかくかわいく元気いっぱいのステージになりました。「コーナーをかけぬけろ!」では、うまいコーナーワークでゴールまで全力で駆け抜けました。

3年生「開幕!北中万博!」は、1970年大阪万博のテーマソング、三波春夫の「世界の国からこんにちは」で入場し、大阪・関西万博2025のオフィシャルテーマソング、コブクロの「この地球の続きを」にのせて、1人ひとりが自分の好きな色の旗を持って元気いっぱい踊りました。競技「おみこしワッショイ!」は、ハラハラドキドキの連続。おみこしを落としても落としても最後まであきらめずがんばりました。



4年生の団体演技「北中ソーラン～one 4 All」では、背中にそれぞれが好きな言葉を書いたそろいのはっぴ姿で登場。声もそろったカッコいい北中ソーランを披露しました。リレーでは高学年として力強い走りを見せ、みんなが大活躍。会場からも大きな声援と拍手が送られました。

5年生の競技「シートでつなぐ挑戦者の想い」は、手作りのシートにボールを乗せ、2人で息を合わせて協力して運びました。5年生が自ら演奏したり、歌ったりした曲が競技中も使われており、手づくり感のあふれる温かい競技でした。

最高学年6年生のリレーは、運動場のトラックを1人1周。バトンパスもさすが!

運動会のクライマックスは、5・6年生合同の団体演技「繋ぐ」。裸足でフラッグを持ち、振る音もバッチリそろって迫力満点。一糸乱れぬ動きは圧巻でした。ピラミッドの一気立ちもお見事。どろんこになりながらも最後まで一生懸命がんばる姿にも感動しました。演技を終えた子どもたちは、達成感・満足感のある良い笑顔で退場し、会場は大きな拍手に包まれました。先に退場した5年生が6年生の退場を拍手で迎える姿もありました。6年生は演技・競技のみならず委員会活動でも北中小学校をひっぱり、他学年の目標となる姿をたくさん見せてくれました。

北中小学校の運動会は、子どもたちも、先生も、保護者も、地域のみなさんも「協力」「つながり」「笑顔」が随所に見られる素敵な運動会になりました。

